

1. 学歴

- 1980年 3月 東北大学文学部卒業
1980年 4月 東北大学大学院文学研究科前期課程入学
1982年 3月 同修了

2. 職歴・研究歴

- 1982年 4月 東北大学文学部助手
1984年 4月 福岡大学人文学部専任講師
1990年 4月 一橋大学経済学部専任講師
1993年 4月 一橋大学経済学部助教授
1994年 9月 ケンブリッジ大学英語学部客員研究員(1995年7月まで)
1995年 9月 ダブリン大学トリニティ・カレッジ英語科客員研究員(1996年3月まで)
2006年 7月 一橋大学大学院経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

英語 A, 英語 リーディング, 英語 リーディング, 経済文化

(b) 大学院

各国経済思潮

B. ゼミナール

学部前期, 学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

英語 Aでは、夏学期はフィクション、冬学期は新聞雑誌記事を講読し、主に英文読解力をつけることを主眼にしている。語彙力養成のため、英英辞書の使用を奨励している。授業では訳読はあまり重視せず、音読、単語・慣用句・構文・類義語と反義語・派生形・語源などの理解を重視する。また英文レポートを書く作業を通じて表現力の養成も目指す。

経済文化では *The Financial Times* 紙などを扱い、経済関連の語彙や表現を学ぶことにより、やや高度な経済英語力の養成を目指す。

学部ゼミナールは共通ゼミとして開いている。テーマは 17-20 世紀イギリスおよびアイルランドの文化と間口が広いが、具体的な研究テーマは参加者と相談して決める。3 年次は基本的文献の精読、4 年次は卒業論文の製作のための調査と定期的な中間報告に充てる。

各国経済思潮では 18 世紀英国経済思想について、当時の文献を読みながら考察する。大学院ゼミナール

では受講者と相談の上、テーマを決めてイギリス関連の問題について研究する。

4. 主な研究テーマ

- (1) 17・18 世紀英国の文学と思想
- (2) ジョナサン・スウィフト
- (3) サー・ウィリアム・テンブル

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文(査読つき論文には*)

- * 「字義化された書物—スウィフトの『桶物語』における活字印刷上の工夫—」『試論』第 22 集, 1983 年 7 月, 43-65 頁。
- * 「スウィフトの初期風刺作品にみられるホブズの要素」『試論』第 26 集, 1987 年 7 月, 19-41 頁。
- "Thomas Hobbes and the Satire on Enthusiasm in Swift's *A Tale of a Tub*" 『福岡大学総合研究所報』第 107 号, 1988 年 3 月, 11-25 頁。
- "Thomas Hobbes and Swift's *A Tale of a Tub* : An Essay on the Problem of Criticism" 『福岡大学総合研究所報』第 108 号, 1988 年 3 月, 15-27 頁。
- 「スウィフトの医学的風刺」『一橋論叢』第 105 巻第 3 号, 1991 年 3 月, 14-28 頁。
- * "Swift and the State-Physician" 『試論』第 31 集, 1992 年 6 月, 23-29 頁。
- "Jonathan Swift and Freemasonry," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 38, No. 1, 1997, pp. 13-22.
- 「ジョナサン・スウィフトと医師たち」『一橋論叢』第 118 巻第 3 号, 1997 年, 438-454 頁。
- 「サリー州ムアパーク—サー・ウィリアム・テンブルの屋敷とその歴史」『言語文化』第 35 号, 1998 年, 69-80 頁。
- 「サー・ウィリアム・テンブル(1628-1699)」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第 36 号, 1999 年, 179-220 頁。
- "The Economic Theme in *Gulliver's Travels*," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 42, No. 1, 2001, pp. 41-58.
- 「ジョナサン・スウィフトと政治経済」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第 39 号, 2002 年, 99-157 頁。
- 「『桶物語』の政治的意義」『言語文化』第 42 号, 2005 年, 61-75 頁。
- * "Swift on Conspiracy" 日本ジョンソン協会編『十八世紀イギリス文学研究第 3 号—躍動する言語表象』(開拓社, 2006 年), 172-94 頁。
- 「近代初期英国におけるフリーメイスン」『言語文化』第 44 巻, 2007 年, 3-17 頁。

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

18 世紀イギリス文学文化研究会

(d) 研究集会オーガナイズ

18 世紀イギリス文学文化研究会

6. 学内行政

(b) 学内委員会

語学研究室運営委員(2006年4月 - 2008年3月)

大学入学試験実施専門委員会(センター部会)委員(2006年3月 - 2008年3月)

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

中央大学法学部

(b) 所属学会および学術活動

日本ジョンソン協会(2009年より新人賞選考委員長), The Ehrenpreis Center(Westfälische Wilhelms 大学),
18世紀イギリス文学文化研究会(発表およびオーガナイズ)